



～図書室にはこんな本があります～

No. 120

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。

※書名の後の（ ）の数字は請求記号です。

※資料の配架場所は本号が発行された時点のものです。

問) 戦時中、どのようなポスターがあったのか。

答) 「ポスター」「戦争」などをキーワードとして **ことば** で検索してみます。

**図書** → **ことば** → **ポスター 戦争** ⇒ 74件

**図書** → **ことば** → **ポスター 戦時** ⇒ 34件

『日本のポスター史』(727/N27) 地下書庫和図書

次の2冊は、戦時ポスターの復刻資料が入っています。

『平和を伝える』(210.75/To79/1) 閉架一般

『平和を築くとき』(210.75/To79/2) 閉架一般

その他、以下の図書にも若干掲載されています。

『朝日クロニクル20世紀 第4巻』(209/A82)開架大型

『一億人の昭和史 第4巻第4号』(210.7/I17/4-4)開架大型

『戦争と庶民 2』(210.7/Se73/2) 開架大型

『戦う広告』(674/W17) 開架一般



図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

# 天声人語から甦る東京オリンピック



バンクーバー冬季オリンピックが2月12日に開幕しました。史上最多の82カ国・地域が参加する冬の祭典が始まり盛り上がりを見せています。

今から46年前の昭和39年10月10日、第18回オリンピック競技大会が東京・国立競技場で開幕しました。アジア初の記念すべき大会であり、数々の名選手たちの活躍が繰り広げられました。

エチオピアの“裸足の英雄”アベベが、男子マラソンで大会2連覇を達成し、日本女子バレーボールチームは、小柄な身体を生かした回転レシーブで強烈なスパイクを拾いまくり、“東洋の魔女”の異名をとりました。日本は史上最多となる16個もの金メダルを獲得し、国別ではアメリカ、ソ連に次いで3番目のメダル獲得国に輝きました。

東京オリンピックについて書かれた昭和39年10月11日に掲載されている朝日新聞の天声人語をご紹介します。

## 東京オリンピック

史上最大の東京オリンピック開会式に、天はこよなき贈りものをしてくれた。全国民があつと驚くほどの好天気である。雲はなく、ぬぐったような秋晴れ、思わず、深呼吸したくなるような天気だった。“奇跡の日本晴れ”である。さわやかな日本の秋のよさ。あたたかい秋陽の祝福をうけて、国立競技場のスタンドに五色の花が咲いたような大観衆。参加九十四カ国、五千五百人の若人を集めてひらかれた東京大会の開会式は、まったく、なごやかな壮観の一語につきた。

音楽の中を、世界の国ぐにの旗と、若人の列が流れて行った。ひるがえる旗は感動を呼ぶ。先頭、万雷の拍手の中をゆくのはギリシャの国旗だ。濃紺のいろは、地中海の空と海の青さを示し、白の十字はパンテオンの大理石を語る。ギリシャ古代の哲人たちを思う。

これと対照的に、白に青い十字の旗はフィンランドだった。白は白雪の広野を、青はこの国の六万の湖や沼を表す。フィンランドの自然をそのまま象徴した旗だ。あの白は白夜のシンボル、青は冬の長いこの国の春への希望を託したものか、と連想もわく。

—以下中略—

各国の旗手にかかげられて、集まった世界の旗は、見る人をしばし酔わせる景観だった。この旗のもとで戦争がはじまり、殺し合いが行われたとは信じがたい。平和とは、なんと、よいものだ……国立競技場をつつんだ拍手の波は、平和のよるこびの声ではなかったか。

『天声人語にみる戦後 50 年 上』(210.76/A82/1)

『スcoop音声が伝えた戦後ニッポン』(210.76/Su54)

『新版 ぼくらの昭和 30 年代新聞』(384.5/Sh97)

## —図書室から—

### 4階図書室、5階映像・音響室休室のお知らせ

休室期間：平成22年3月2日（火）～平成22年3月14日（日）

4階図書室、5階映像・音響室では上記期間、所蔵資料の整理・点検を行います。

6階・7階常設展示室、1階「昭和館懐かしのニュースシアター」は平常通りご利用いただけます。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 120

2010年2月20日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1